

JAITI 26

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上の農村地域社会の人々が、「生きる権利」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行所 (財) 日本農業研修場協会 日本
〒386-0502 長野県小県郡武石村沖456
TEL 0268-85-3485 FAX 0268-85-3583
東京連絡所 〒113-0031 東京都文京区根津1-19-3(小科学)
TEL 03-3828-9263 FAX 03-3828-9262

今日のジャイチ

◆バシユバント学校

バシユバント学校で二〇〇三年に高校卒業試験(S.L.C.)を受験した二十四人の十年生のうち、追試で合格した一人を含め、合格したのは三人でした。彼らは、ヘタウダで高校の後期課程(十一年生と十二年生)に入学しました。不合格だった生徒二十人のうち四、五人は、留年して引き続きバシユバント学校の十年生クラスに所属し、毎日学校に来ませんが、来年試験に再挑戦するために復習をしています。あとの生徒は

家にいたり、授業料を払って予備校で勉強したりしています。バシユバント学校の高校卒業試験(S.L.C.)の結果が思わしくなかったことをきっかけにして、いろいろな動きがありました。生徒の不満が高まり、八月末には学校のロッカールームにまで突進しました。突き上げを食らって、校長を含む四人の先生が辞任し、新聞での公募を通じて選ばれた先生が新たに着任しました。

学校運営の問題点を改善し、教育の質を向上させることが必要とされています。幸い、

ピム・ラル・グルンさんと専門家が助言、指導を始められています。後は校長からのたき上げで、教育省の高官にまでな

った人です。またその動きとも連動して、より客観的に学校事業を評価することも準備中です。評価事業によって、学校事業の成果と問題点がより鮮明に浮かび上がることが期待されています。学校を取り巻く地域社会の状況やネパールの教育行政を体系的に捉え直すなど基礎的な調査をやり直し、学校の状況を抜本的に見直すとともに、長期的な改善策を立案する予定です。

このようにジャイチの学校教育事業は改善、見直しの最中です。一方で基礎教育充実のための新しい事業についても鋭意検討中です。多くの課題がありますが、ジャイチの活動がますます良くなっていくための過程ととらえ、しっかりと取り組んでいく必要があります。

◆チベット伝統医療
カカニ農場については、土屋農業指導員に九月と十二月にネパールに指導に行ってもらいました。詳しくは次項の報告をご参照ください。

◆チベット伝統医療の復興
チベット伝統医療の復興事業においては、二〇〇四年一月に国際ワークショップ

が実施され、授業料を払って予備校で勉強したりしています。バシユバント学校の高校卒業試験(S.L.C.)の結果が思わしくなかったことをきっかけにして、いろいろな動きがありました。生徒の不満が高まり、八月末には学校のロッカールームにまで突進しました。突き上げを食らって、校長を含む四人の先生が辞任し、新聞での公募を通じて選ばれた先生が新たに着任しました。

このようにジャイチの学校教育事業は改善、見直しの最中です。一方で基礎教育充実のための新しい事業についても鋭意検討中です。多くの課題がありますが、ジャイチの活動がますます良くなっていくための過程ととらえ、しっかりと取り組んでいく必要があります。

◆チベット伝統医療
カカニ農場については、土屋農業指導員に九月と十二月にネパールに指導に行ってもらいました。詳しくは次項の報告をご参照ください。

◆チベット伝統医療の復興
チベット伝統医療の復興事業においては、二〇〇四年一月に国際ワークショップ

が実施され、授業料を払って予備校で勉強したりしています。バシユバント学校の高校卒業試験(S.L.C.)の結果が思わしくなかったことをきっかけにして、いろいろな動きがありました。生徒の不満が高まり、八月末には学校のロッカールームにまで突進しました。突き上げを食らって、校長を含む四人の先生が辞任し、新聞での公募を通じて選ばれた先生が新たに着任しました。

このようにジャイチの学校教育事業は改善、見直しの最中です。一方で基礎教育充実のための新しい事業についても鋭意検討中です。多くの課題がありますが、ジャイチの活動がますます良くなっていくための過程ととらえ、しっかりと取り組んでいく必要があります。

◆チベット伝統医療
カカニ農場については、土屋農業指導員に九月と十二月にネパールに指導に行ってもらいました。詳しくは次項の報告をご参照ください。

◆チベット伝統医療の復興
チベット伝統医療の復興事業においては、二〇〇四年一月に国際ワークショップ



バシユバント学校初の十年生(最終学年)

が実施され、授業料を払って予備校で勉強したりしています。バシユバント学校の高校卒業試験(S.L.C.)の結果が思わしくなかったことをきっかけにして、いろいろな動きがありました。生徒の不満が高まり、八月末には学校のロッカールームにまで突進しました。突き上げを食らって、校長を含む四人の先生が辞任し、新聞での公募を通じて選ばれた先生が新たに着任しました。

このようにジャイチの学校教育事業は改善、見直しの最中です。一方で基礎教育充実のための新しい事業についても鋭意検討中です。多くの課題がありますが、ジャイチの活動がますます良くなっていくための過程ととらえ、しっかりと取り組んでいく必要があります。

◆チベット伝統医療
カカニ農場については、土屋農業指導員に九月と十二月にネパールに指導に行ってもらいました。詳しくは次項の報告をご参照ください。

◆チベット伝統医療の復興
チベット伝統医療の復興事業においては、二〇〇四年一月に国際ワークショップ

が実施され、授業料を払って予備校で勉強したりしています。バシユバント学校の高校卒業試験(S.L.C.)の結果が思わしくなかったことをきっかけにして、いろいろな動きがありました。生徒の不満が高まり、八月末には学校のロッカールームにまで突進しました。突き上げを食らって、校長を含む四人の先生が辞任し、新聞での公募を通じて選ばれた先生が新たに着任しました。

このようにジャイチの学校教育事業は改善、見直しの最中です。一方で基礎教育充実のための新しい事業についても鋭意検討中です。多くの課題がありますが、ジャイチの活動がますます良くなっていくための過程ととらえ、しっかりと取り組んでいく必要があります。

◆チベット伝統医療
カカニ農場については、土屋農業指導員に九月と十二月にネパールに指導に行ってもらいました。詳しくは次項の報告をご参照ください。



1990年に最後に建てられた管理棟(左)の隣りに現在建設中の科学実験室、図書室、診療所棟(右)3人の篤志家の寄付によるもの

◆最近の観光産業

観光産業は平和と安全に依拠しています。平和と安定がない限り、観光客の数が急増するということはありえないでしょう。しかし、政治状況は改善されていないにもかかわらず、観光客の数はここ数年増えています。ネパール観光局によれば、二〇〇三年十一月に空路で入国した観光客は、前年と比べて四五パーセントほど増加しています。エベレストの五十年祭が五月に行われた際の国際的な広域活動や、インドにおけるキャンペーンのおかげで、観光客はかなりの増加を示しています。前年比でインドからは二六％、アメリカからは三〇％、イギリスは四九％、ドイツは二二％、フランスは六七％、そして日本は四五％増加しています。インドからの観光客の増加は特に重要で、観光客数全体の増加をもたらしました。困難な状況下においてこのように観光客が増加していることは、企業家たちを勇気づけています。しかし政治情勢は安定しておらず、その時その時の状況にすべて左右されてしまうこととでしょう。

換の場の一つを削り出したと願っています。お手数ですが、ご参加いただける方は、メールアドレスを事務局までご連絡ください。それと、ジャイチの今までの蓄積をまとめたホームページも立ち上げたいです。ご協力いただける人、ぜひ事務局までご連絡ください。今までの活動を維持していくとともに、新しい活動を少しずつ展開していくために、みなさまの御一層のご支援をお願いいたします。(事務局長 鎌田陽司)

◆Eメール
話は変わりますが、Eメールによるメーリングリストを立ち上げたいと思います。現状の状況をさらに詳しくお知らせするとともに、関係者の間での意見交

世田谷フリーマーケット

榎 康子



それは、平成十年十一月二十二日「ジャイチ・ネパールの農場と学校訪問の旅」の帰途、香港から成田への機内で始まりました。ジャイチ・ネパールの子供達のために何か出来ないかと言う声が無言に出てきた結果です。

販売品がなくなれば終わるといふ感覚だったと思えます。それが今日まで続いているのは「もう売れるものがないかな」と思っている、引越でいらなくなつたものを寄附してくださつたり、企業の方で廃棄処分にするもので、まだ使える物を送ってくださったたり、ジャイチの事務局から声を掛けて頂いた方々がお送りくださったたり等々、なくなるどころか、保管を心配する始末です。

それらジャイチの支援者の方から倉庫を提供頂き解決しました。沢山の人のために支えられての活動となつたからだと思います。

(世田谷区)

留学生交流会に参加して

山口大輔



ウツタム・タバ

加えて、毎回様々な人との出会いと体験があり、慣れてきたこともあって「今日はどんなかしら」と楽しむ余裕が出てきたことではないでしょうか。

十一月二十三日、長野市小山栗樹園に於いて、「海外技術研修員、留学生との交流会」が開催され、ジャイチからは私が参加致しました。

当日は、長野県青年海外協力隊員のOB・OG会も兼ねており、隊員のOBの方が栗樹園を運営されているということもあり、大勢の参加者で賑わいました。

この日は晴天にも恵まれ青空の下、交流を深めることができました。私は、ジャイチ・パシフィック・バンブー学校からの留学生「ウツタム・タバ」君とは会うのが初めてということもあり、また、タバ君のホームステイ先の関さんが参加できないというのでした。すぐに分かるか、不安を抱えたままの参加となりました。

無「タバ」と書いてありません。すぐに彼がパシフィック・バンブー学校からの留学生だとわかりましたが、名前が漢字で書かれていたのには、驚かされました。

栗樹園ということもあり、「リンゴ狩り」の企画があり、リンゴの上り手な方も説明がありま

「頑張るべきないボランティア、自分たちの出来る範囲で」をモットーに、ちよつとだけ頑張つて活動してゆきます。

高、古切手、使用済カードの売上金は、五年間で約七万円となりました。これからも宜しくお願い致します。

みなさん、こんにちは。今日は日本についてお話をします。五月二十七日に日本へきました。六月から八月十八日まで、小林さんのおたくで、ホームステイをして長野西高校で朝八時四十五分から三時まで日本語を勉強しました。

それから、八月十九日には、長野けんちょうへ行つて田中じにあいました。そしてその日から下高井農林高校のせいととなり、きょうとう先生のいえにホームステイしました。あたらしいばしょ、あたらしいごきょうだからしんばいしました。

それから、八月十九日には、長野けんちょうへ行つて田中じにあいました。そしてその日から下高井農林高校のせいととなり、きょうとう先生のいえにホームステイしました。あたらしいばしょ、あたらしいごきょうだからしんばいしました。

原文の文章を用いながら、読みやすいように修正いたしました。

日本留学記

ウツタム・タバ

原文の文章を用いながら、読みやすいように修正いたしました。

(事務局)

古切手・使用済カード

収集続けています。

切手の回りに五ミリの余白を残して下さい。

送付先 〒158-0008 世田谷区東玉川 1-1-10

安藤雅子

安藤雅子

カカニ農場の近況

九月と十二月にカカニ農場に滞在しました。農場の近況をお知らせします。

◆イチゴの定植遅期

〇二年（以下前年）はじめてポリマルチ栽培を試験し、好成績でしたが露地栽培とは違う定植の遅期をつかむ必要があります。前年の定植は八月三〇日から九月一〇日でしたが、ポリマルチ栽培した所では九月一〇日から十五日ごろの定植が好成績でした。

年による気象変動もあり、年々生産力が落ちてきており、苗の更新が必要との判断から九月に日本よりウイルスフリー苗（無病苗）を三六〇本持ちこみました。これは苗とり母株として



標高差7,600m。谷底より山頂まで階段状の田畑が延々と続く。「耕して天に至る」中部・北部ネパールの典型的風景。農家のイチゴ畑の断面。種の移動はほとんど登山。

育て、収穫は一切しませんが、前年（二月）はじめるころ、その株を振りあげ三〇日間ほど五〜八℃の冷蔵庫で低温処理するとランナー（子苗）の発生が大幅に増加すると考えられ、半分ほどは低温処理試験を実施します。

◆イチゴの防寒試験

（株）トータル・クリエーションの岸井社長さん並びにカネボウ合機（株）グループより、いずれは上に選べるトウモロコシのデンブ由来の防寒資材である不織布ラクトロンを提供いただきました。

◆イチゴ苗の更新

年々生産力が落ちてきており、苗の更新が必要との判断から九月に日本よりウイルスフリー苗（無病苗）を三六〇本持ちこみました。これは苗とり母株として

育て、収穫は一切しませんが、前年（二月）はじめるころ、その株を振りあげ三〇日間ほど五〜八℃の冷蔵庫で低温処理するとランナー（子苗）の発生が大幅に増加すると考えられ、半分ほどは低温処理試験を実施します。

育て、収穫は一切しませんが、前年（二月）はじめるころ、その株を振りあげ三〇日間ほど五〜八℃の冷蔵庫で低温処理するとランナー（子苗）の発生が大幅に増加すると考えられ、半分ほどは低温処理試験を実施します。

大きな効果が期待できますが、ラクトロンを日本から持ちこむとすると高価格となりそう、それが課題です。いずれにしても技術的なメドはつけておきたいと考えています。

■資材の現地調達
資材の日本からの持ちこみは飛行機の一人当り高

物重量制限から試験用以外には考えられませんが、また基本的には現地で調達できない資材はいくつかあります。特にプラスチック系資材は農業への利用という観点から、品質は悪いものが多いです。代替品のあるポリマルチ以外、調達の可能性がほとんどありません。カトマンドで資材調達に歩いて見て、そのことを実感しました。

輸入でも良いですが、日本からは高価なうえ運賃も問題です。貿易の多い中国、インドを当てもらっています。現在のところはつきりしません。

■ポリマルチの品質改善
現在製のポリマルチ代替品は太陽光線による劣化がはげしく、苦慮していましたが、たまたまカトマンドでお会いした東京の金子雄一郎様にご教示いただき解決の方向です。

耐光性を増す化学物質を添加すれば良いとのこと。その人手やネパールの製造会社との調整など、取り組みを進めることにしております。丈夫なネパール製のポリマルチが出来ることを期待しています。

■技術は絶対的か
いまひとつの反省をしております。牛ウイフルーツの摘みによる良品生産を指導してはいますが、なかなか徹底しません。理由は簡単に果数を多く取りたいという考え方が強いからです。

飲食の日本では果物は大きく、品質、食味の良いものでないと売れません。そこから国際的にも芸術品といわれるような果物が生産されていますが、その技術を開発（発展）途上国に持ち込んでも、無理があるのでは、ということですね。

敗戦後日本でも食糧増産一辺倒で品質、食味など無視されました。時代が変わり品質、食味が重視され、それに対応した技術がすべてですが、現在のネパールでは味よりも量、価格などが優先されそう、日本の技術がすべてではないと感じ始めました。

技術はその国の社会、経済情勢、食糧事情、消費者の嗜好、購買力などによって変わるものだと思います。技術指導にあたり心しなければならぬことと思うようになりました。

ただし、樹体の保護、花芽着生量の増減による隔年結果の防止、奇形果の摘除など最低限のことは守らせることは当然で、摘果の荒さには目をつぶるということですね。

■ネパールのお酒
ネパールで一般的なお酒といえばロクシーです。これは日本の焼酎と同じで、各種穀物や果物をアルコール発酵させ蒸留したものです。お米やヒエを原料としたものが良品だそう、農村部では簡単な蒸留装置を持つ家が多いようで、ほとんど自家製です。アルコール度数は二〇〜二十五度ぐらいで、ストレートまたは水、お湯で割っての飲み方は日本と同じです。

シエルバ族などチベット系の人達が好んで飲むのがチヤンとトゥンバです。チヤンはお米から、トゥンバは

ヒエから作る日本酒と同じ発酵酒で、チヤンは日本のどぶろくに相当します。トゥンバもいってはいえどぶろくですが、その飲み方がちよつと違って、注文するのとトゥンバが半分ほど入った円柱形の器にお酒を注ぎ三分ほど待ちます。

すると次第にブクブクと音がしてきます。そうやって初めてストローですい飲みます。手づくりなので味はいろいろですが、口の中

に甘酸っぱい味が広がります。うまく出来ているものは中々いけません。

中身が少なくなってきたら、またお湯を注ぎ三回ぐらいいは味わえます。世界でも大変めずらしい飲み方のお酒です。

ネパール的一般家庭でのお酒づくりは、きびしいことはいわないよう、なおネパールでも現地の人のとっては高価ですが、世界中のお酒が飲めます。

（農業指導員 土原典重）



イチゴの防寒試験、本文参照。



ストローで飲むストロンバ飲むのはウイバ農夫

第14回ネパールの旅 「ネパールの幻想」

梶石哲男



ブツダが沐浴した菩提樹の下で（新しくコースに入ったムンビニ）

あなたは、魔法のランプを倒しますか？
現地時間午後十一時にカトマンズ空港到着。ゲートを出て駐車場にスタッフの顔を見つけた。随行の私の口からは、「ふっ」と安堵のため息が漏れた。
スタッフは、「ども、みなさんネパールへ、ようこそ」と、マリーゴールド首飾りをツァーメンパーに渡しはじめた。虫が付かないように、とのおまじないである。

ホテルへ着くと、明日のスケジュール確認をし、メンバーを部屋で休ませた。私も部屋へ帰って休もうと

すると、スタッフが話しかけてくる。「明日のカカニ農場ですが、農場は北側の斜面にあります。今年は、雨が多く生育も遅れました。イチゴの成熟にはまだ早いです。」な、なんと、メイスイベントのひとつイチゴ狩りができないではないか！と思いつきながら白室へもどった。林もどには古びたランプ。私は何を直したのか、ランプをこすりながら「赤い、大きなイチゴが降りますように」と念じた。「な、なんだ。何にも起こらないじゃない。」と言いつつ自分を

納得させるとベットにもぐりこんだ。
翌朝、はしゃぐツァーメンパーを車に押し込み、一路カカニ農場へ。宗教的にも言えるネパール建築物のカトマンズの雑地から抜け出し、緑豊かな水源地。王様の森の側を走り、多くの日本人がイメーグする急峻な丘陵地帯へ入り込んだ。ここでは耕作できる土地に、そば、シコクビエ、大根、春菜などが所狭しと作られている。ジャイチのマン支配人が車を止め説明をはじめた。「ここから尾根に向かってジュエータのように広がっているのは、十年前、ジャイチで試験をはじめたイチゴです。現在では、地域の人々の重要な収入源になっています。」とおしと感嘆の声を共にツァーメンパーはボケットから出したカメラでパチリ・パチリと記念撮影。

標高一八〇〇Mのカカニ農場に到着した。今はまだ雲の中、白い霧の中に山桜のピンクが漂う。農場の中心からこやかに農場の管理人夫妻が出てきた。「イチゴの生育はどう？」と一番気になっていたことを訪ねた。「今朝、メガネをかけたお坊さんのような人が来て、あなたの土地は、イチゴの連作で壊れていますから、来年はこの種を蒔いて花が咲いたら刈り取って土

に働き込みなさいと言っています。この種を置いていきました。何でも根粒菌が空気中の窒素を土に返すのだとか。」と両手一杯の種を私に見せた。なんとも怪しげな坊さんだ。
農場内では、マン支配人が、カカニ農場の歩みを説明していた。「ここは、地域の住民の研修所となっています。イチゴのおかげで地域の農家は、テレビや草葺屋根から鉄板屋根への改善など生活上の成果が上がっています。」ツァーメンパーは熱心にメモを取り、試食用のイチゴやサツマイモを食べる。

段々畑の向こうには、ほんのり赤く染まった王様の山がお休みと言っていた。カトマンズと言う巨大目マケットを近隣に抱えヒットしたイチゴ。今、カカニ農場では、生産量増加及び品質低下による価格の低迷を迎えている。カトマンズからのイチゴ狩りツアーやキウイフルーツへの転換等対策が検討されている。緑肥による休耕を含めた輪作体系形成はうまくいくのであろうか。

このつづきはホームページ「白い旗 N E T 企画」
(http://www.dianet.jp/~nanda)にて公開中。ツァーメンパーの報告書も掲載されています。
〔長野県 山口村〕

七月明治大学（東京都）、七月あすの会（長野県佐久市）、七・九・十月世田谷オーブンマケット（東京都世田谷区）、九月国際交流フェスティバル（佐久市）、十月日本郵政公社（長野県松本市）、十月国土交通省（東京都）、十月佐久郵便局（佐久市）、十月国際協力フェスティバル（東京都丸の内区）

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載致します。ご冥福をお祈りしますと共に、感謝致します。小寺吉男様 十四年十二月（埼玉県所沢市）
渡辺隆一様 十五年二月（長野県長門町）
結城吉之助様 十五年十二月（山形県山形市）

事務所の豊田さんは、電話、ファックス、パソコンを駆使して、毎日の仕事をこなしている。この中で、古いファックスは、長い間酷使に耐え奮闘してきたが、つい限界にきたようだ。もしお手持に、ご寄付くださったものがありましたら、ご連絡ください。

物故者のお知らせ

編集後記

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を円滑も心に留めて下さり、御謝申し上げます。通告されている財源その他について説明を致します。ご協力をお願い申し上げます。

1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本的財源の確保
2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費
3. ジャイチ事業費

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその経費として確保することを目的としています。

振込先 番号 {郵便振替 00610-4-65434
銀行振込 八十二銀行九子支店 (番) 420577
口座名 財団法人日本農業研修協力団
住所 〒386-0602 長野県小県郡武石村沖456
電話 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

尚、金額に関しては規定がございませんので、お振りお振りご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的々考えは如何でしょうか。)

第十五回

ネパールの農場と 学校訪問の旅予告

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

●日程 十一月六日(土) - 十六日(火) 十日泊十一日

費用 一二十万を予定

●参加条件 一 一 両国語が可能な方

●主催 朝風の旅行社

●企画 ジャイチ
詳細は次号でお知らせ致しますが、お問い合わせはジャイチ事務局まで。

「たすね人」

つぎの方への郵便物が届きません。新任所をご存知の方は事務局までご連絡をお願い致します。カッコ内は田住所です。

・石渡幹夫・恵理子様(大田区)・久保清様(西宮市)

・武村 隆